

***** ◇◆ 目次 ◆◇ *****

- 1 夏の事故防止
- 2 アイネスからのお知らせ

■ 夏の事故防止

梅雨が上がり、いよいよ夏の到来です。夏は海や山など屋外で過ごす機会も多く、一方、暑さをしのぐためエアコンや扇風機を使用する時間も増えることから、夏特有の様々な事故が起こります。

夏に起こりやすい事故をまとめました。ご注意ください、楽しい夏をお過ごし下さい。

古い扇風機で事故多発

熱中症にならないためにもエアコンや扇風機を適切に使うことは大切ですが、15年以上経過したような古い扇風機では、部品の劣化により発火し、住宅を全焼するなどの事故が多発しており、注意が必要です！

〈事例〉

使用中の扇風機付近から出火して、住宅の一部を焼損した。（平成24年8月・奈良県）

〈原因〉

約20年使用したため部品の劣化により異常発熱し、周囲のホコリ等に着火して発火

〈アドバイス〉

次の症状がある場合は、電源プラグを抜いて、使用を中止して下さい。

- ① スイッチを入れてもファンが回らない、又は、叩くと回り出す。
- ② ファンの回転が遅かったり、不規則だったりする。
- ③ モーター部分が熱い、焦げくさい、又は、異常な音がする。
- ④ コードが折れ曲がったり破損している。

エアコンの事故

NITE⁽¹⁾のまとめでは、エアコンによる事故が全国で347件⁽²⁾発生しています。

※⁽¹⁾独立行政法人製品評価技術基盤機構 ⁽²⁾平成24年度までの5年間の事故件数

〈事例〉

使用中のエアコンから、異音とともに出火した。（平成24年9月・高知県）

〈原因〉

エアコンを使用者自身が洗浄した際に洗浄液が電気部品内に侵入したため、使用中に発火

〈アドバイス〉

エアコンの内部洗浄にあたっては、洗浄剤が電気部品に侵入しないように作業する必要があり、高い専門知識が求められます。洗浄の際は、購入店やメーカーに相談して下さい。

この他にエアコンでは、次のような事故が発生しており、注意が必要です。

- ① 10年以上の長期使用で、室外機の電機部品に絶縁低下や劣化が起こって異常発熱
- ② 室外機にナメクジやムカデなどの小動物が侵入し、基板に接触して発煙
- ③ 電源コードの継ぎ足しなどの不適切な接続による異常発熱
- ④ 電源プラグとコンセントのすきまにホコリがたまって発火

カセットコンロによる事故

夏はバーベキューなど野外でカセットコンロを使って調理する機会も多いと思いますが、カセットコンロの誤った使い方は大事故につながります。

〈事例〉

カセットコンロを2台並べ、その上に鉄板を置いて使用していたところ、ガスボンベが破裂して15人がやけどを負った。

〈原因〉

加熱された鉄板の放射熱によってガスボンベが過熱されたため、爆発が発生

〈アドバイス〉

カセットコンロを2台並べ、その上に鉄板を置いて使用したり、カセットコンロは1台でも、コンロを覆うような大きな鉄板や鍋は使用しないください。放射熱によりカセットボンベが過熱されて爆発する事故が起きています。



カセットコンロは、この他に次のようなことにも注意する必要があります。

- ① カセットボンベは正しく装着する。
- ② 炭の火おこしに使わない。炭の放射熱によって、ボンベが過熱されます。
- ③ ガスカートリッジ直結型ガスコンロは傾けない。平坦な場所で水平に置く。
- ④ 車内など、高温になるところにカセットボンベを置かない。

冷却グッズによる事故

夏は、冷却スプレー、冷却パッド、冷却スカーフなどの冷却グッズが人気ですが、使い方を誤るとやけど等の事故につながります。

【冷却スプレー】

〈事例〉

冷却スプレーを使用後、たばこを吸うためにライターに点火したところ、周辺を焼損し、手足などにやけどを負った。

〈原因〉

室内でライターを点火したため、滞留していたスプレー缶の可燃性ガス（LPガス）に引火して、やけどを負ったものと推定されます。

〈アドバイス〉

- 冷却スプレーには可燃性ガスが含まれています。冷却スプレーを使用した後に、近くでライターやこんろを点火しないでください。可燃性ガスに引火するおそれがあります。特に、車内やテントの中など狭い空間での使用は要注意です。
- 冷却スプレーの噴射時間が長すぎたり、距離が近すぎたりすると、凍傷等のおそれもあります。使用上の注意を守って使用しましょう。

【冷却用スカーフ・冷却パッド】

〈事例〉

冷却用スカーフを首に巻いて使用したところ、皮膚炎を発症した。

〈原因〉

冷却用スカーフに含まれる成分により、皮膚炎を発症したものと考えられます。

〈アドバイス〉

- 肌に触れる冷却パッドや冷却スカーフを使用すると、まれに体質によってはアレルギー性接触皮膚炎を起こすおそれがあります。使用中、肌に刺激を感じたり、かゆみや不快感等がある場合には、すぐに使用を中止して専門医の診察を受けてください。
- 冷却用品には、防腐剤や保冷剤等さまざまな化学物質が含まれています。破いたり、内容物に触れないようにしましょう。また、初回使用前に洗濯する必要のある製品もあります。取扱説明書を読み、使用方法を守ってください。

※ 以上は、NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）の資料から引用

【消費生活に関するご相談は・・・】

☆ 市町村の消費生活相談窓口

県下すべての市町村で、消費生活センターや相談窓口が設置されています。

次の消費者ホットラインの利用により、全国どこでも、お近くの市町村や県の相談窓口

に自動的につながり、市内料金で相談できます。お気軽にご相談下さい。

《 消費者ホットライン：0570-064-370 》

☆ **大分県の消費生活相談窓口** ※メールやファックスでは受付しておりません。

◇ **消費生活等相談**（契約、販売方法、多重債務、消費生活に関する相談）

- ・ 受付時間：月～金曜日（祝、休日をのぞく）9：00～17：30
- ・ 相談電話：097-534-0999

◇ **消費生活特別相談**

- ・ 受付時間：日曜日（第3日曜をのぞく）13：00～16：00
- ・ 相談電話：097-534-0999

◇ **食品表示110番**（不審な食品表示に関する情報、食品表示に関する質問など）

- ・ 受付時間：月～金曜日（祝、休日をのぞく）9：00～16：30
- ・ 相談電話：097-536-5000

☆ **メルマガ登録者を募集しています！**

配信ご希望の方は、**お名前、市町村名、「PC版または携帯版」の配信希望**と書いて、
下記メールアドレスあて送信してお申し込みください。

○申込先 → iness.csm@pref.oita.jp （メルマガ専用アドレス）

☆ **Facebookで暮らしに役立つ最新情報を発信しています！**

★ Facebookに登録していなくても、見ることができます。

<https://www.facebook.com/oita.iness>

=====
大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）
〒870-0037 大分県大分市東春日町1番1号（NS大分ビル内）
TEL：097(534)4034 FAX：097(534)0684
ホームページ：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13040/>
E-mail：a13040@pref.oita.lg.jp
=====